

第 63 回

# 高知市文化祭

## 報告書

〔平成 23 年度〕



第 63 回高知市展オープニングセレモニー（平成 23 年 5 月 28 日／かるぼーと）

高知市文化祭執行委員会



# 目 次



高知市文化祭執行委員名簿	.....	2
高知市文化祭主催行事	.....	3
高知市文化祭参加行事数・入場者数	.....	6
参加行事報告		
映像部門参加行事	.....	7
演劇部門参加行事	.....	8
音楽部門参加行事	.....	10
舞踊部門参加行事	.....	14
展示部門参加行事	.....	16
文芸部門参加行事	.....	17
その他の参加行事	.....	18

## 第63回高知市文化祭執行委員会

区 分	氏 名	備 考	
顧 問	廣 松 ひとし	人形劇団ピッコロ座代表	
顧 問	森 田 悦 男	高知市文化協会代表理事	
芸 術 文 化 部 門	映 画	坂 本 昌 隆	映像芸術研究家
	音 楽	松 村 紫 乃	高知県三曲協会副会長
		坂 本 雅 代	高知県合唱連盟事務局長
		高 橋 輝 雄	高知県民謡協会会長
		上 本 竹 永	高知県吟剣詩舞道総連盟副理事長
	舞 踊	花 柳 昌 延	高知県日本舞踊協会会長
		立 脇 千 賀 子	高知県バレエ協会会長
	演 劇	吉 本 智 賀 子	劇団ゆまにて代表
		北 村 絵 理	NPO法人高知市こども劇場理事
	文 芸	島 総一郎	高知ペンクラブ事務局長
	華 道	立 石 一 有	高知県華道協和会理事
	能 楽	小 林 容 子	高知能楽会代表理事
	市 展	濱 田 尚 川	高知市展代表委員長
	まんが	山 北 美 砂 子	高知漫画集団事務局
	県立美術館	影 山 千 夏	高知県立美術館主任学芸員
	文化協会	高 橋 啓 継	高知市文化協会事務局長
報 道	RKC	竹 島 章 記	高知放送報道制作部長
	NHK	山 下 茂	NHK高知放送局放送部長
	高知新聞	内 川 雅 彦	高知新聞社学芸部長
	高知新聞企業	布 達 也	高知新聞企業事業局次長
	KUTV	和 田 敦 子	テレビ高知報道部長
	さんさんテレビ	林 寛	高知さんさんテレビ報道制作局長

委員長                     花柳 昌延

副委員長           高橋 輝雄 ・ 北村 絵理

監 査           上本 竹永 ・ 山北 美砂子

第63回高知市文化祭開幕行事  
「オペラ四万十」

第63回高知市文化祭開幕行事

by the Mandolin Orchestra  
OPERA SHIMANTO  
マンドリン  
オーケストラによる

オペラ  
四万十

美しい音色でおくる  
愛と清流の物語

平成23年4月17日(日)  
開場 13:30 開演 14:00  
会場 高知市文化プラザ  
かるぽーと 大ホール  
チケット ¥2,500(前売り・当日とも)

演出:大島 尚志  
脚本:溝淵 和久 作曲:岩本 圭司  
演奏:高知マンドリン土曜日会 指揮:井上 聖香  
出演:良 吉 所谷 直生(テノール)  
おみね 梅原 ゆかり(ソプラノ)  
庄 治 山本 幸雄(バリトン)  
エンコウ大王 坪内 一郎(バリトン)  
合唱:オペラ四万十合唱団・窪川コーラス

お問い合わせ:(財)高知市文化振興事業団 TEL.088-883-5071  
主催:高知市文化祭執行委員会・高知市文化協会・高知マンドリン土曜日会  
共催:「オペラ四万十」をまもる会  
主管:(財)高知市文化振興事業団・高知市教育委員会  
後援:高知新聞社・RKC高知放送・NHK高知放送局・KUTVテレビ高知・KSS高知さんさんテレビ  
チケット販売所:高知市文化プラザかるぽーとミュージアムショップ・  
高知県立美術館ミュージアムショップ・高知プレイガイド・高知大丸プレイガイド  
「オペラ四万十」をまもる会事務局 TEL.0880-22-4171(牧野)

高知市文化プラザ  
かるぽーと

- ◇日時 平成23年4月17日(日) 開場13:30～ 開演14:00～
- ◇場所 高知市文化プラザかるぽーと 大ホール
- ◇入場料 2,500円
- ◇主催 高知市文化祭執行委員会・高知市文化協会・高知マンドリン土曜日会
- ◇主管 (財)高知市文化振興事業団・高知市教育委員会
- ◇後援 高知新聞社・NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSS高知さんさんテレビ
- ◇出演 高知マンドリン土曜日会・オペラ四万十合唱団・窪川コーラス・所谷直生・梅原ゆかり・山本幸雄・坪内一郎 他 総計 76人
- ◇入場者 930人

# 第63回 高知市展

- ◇開催日 平成23年5月28日(土)～6月12日(日)
- ◇会場 高知市文化プラザかるぼーと 7階市民ギャラリーほか
- ◇入場料 前売300円 当日400円 (50円割引のハガキを発行)
- ◇鑑賞者 6,707名
- ◇美術体感イベント「あなたダビンチ ぼくピカソ」  
6月5日(日)午後1時～4時  
前広場・公民館施設 (6部門+まんが館7ブース・2部門2ブース)  
フリーパスポート 500円(486枚)



◇出品者・出品数・イベント参加者

部 門	出品者(前回)	出品数(前回)	北見市 交流作品	美術体感イベント 参加ブース名	参加者数
絵 画	79 (94)	93 (116)	4 (4)	「エコ・アート」	1700
日本画	41 (27)	55 (35)	3 (3)	「クリアーファイルに 絵を描こう」	520
書 道	120 (120)	120 (120)	10 (10)	「筆と遊ぼう」	800
先端美術	22 (17)	23 (18)			
彫 刻	31 (30)	42 (46)		「せっこうメダル」	574
陶 芸	71 (76)	102 (114)	3 (3)	「粘土で遊ぼう」	226
工 芸	35 (60)	52 (101)			
写 真	90 (82)	154 (137)	11 (11)	「カメラマンに挑戦」	30
ペン字	97 (93)	97 (93)		「字は楽しく 書くのが一番」	280
デザイン	55 (64)	60 (70)		「キーホルダー作り」	560
まんが館				「キャララ村キャラクター をつくろう」	274
合 計	641 (663)	798 (850)	31 (31)		4964

# 第63回 高知市展 関連行事

## ◇講習会

彫刻講習会	〔 全身像・抽象コース 头像コース	3月1日～3月27日	全12回
		3月29日～4月24日	全15回
陶芸「一日作陶体験会」		4月3日	
日本画講習会		4月9日～5月13日	全5回
工芸「カラフルなマール染め」		4月17日	



## ◇研究会

先端美術研究会「東谷隆司講演会」	5月29日
書道作品研究会	5月29日・6月11日
絵画作品研究会	6月12日
写真作品研究会	6月12日
彫刻作品研究会	6月12日
日本画作品研究会	6月12日
工芸作品研究会	6月12日



文化祭参加行事数・入場者数等集計表

部 門	行事数	入場者数	参加行事助成額	行事区分
映 像	6 (6)	690 (538)	140,000 (130,000)	共 催 5 名義共催 1
演 劇	8 (9)	3,591 (6,184)	410,600 (378,400)	共 催 6 後 援 1 名義後援 1
音 楽	20 (22)	8,273 (8,010)	1,032,600 (1,125,000)	共 催 16 特別共催 1 名義共催 1 後 援 2
舞 踊	8 (10)	2,645 (6,359)	443,300 (636,600)	共 催 5 後 援 2 名義後援 1
展 示	4 (5)	6,776 (9,801)	323,200 (328,600)	共 催 4
文 芸	4 (4)	941 (809)	230,000 (230,000)	共 催 2 後 援 1 委 託 1
その他	4 (4)	680 (837)	180,300 (179,900)	共 催 4
合 計	54 (60)	23,596 (32,538)	2,760,000 (3,008,500)	共 催 42 特別共催 1 名義共催 2 後 援 6 名義後援 2 委 託 1

( ) 内は前回の実績数

※「その他」部門への文化祭参加興行映画の入場者数は、この集計には含まれておりません。

## 映像部門

行事名	こうちコミュニティシネマ第63回上映会「クレアモントホテル」		
日・時	4月21日(木) 13:30～計4回		映画館減少、シネコン一極化で、地方の映画環境が悪化している中、少しでも多様な映画を紹介し、高知の映画環境を豊かなものにしたいと努力している。今回は、主人公の「老いても失わない人生への前向きな姿勢」が共感を呼び、中高年世代だけでなく二世代で鑑賞に来た方も多く見受けられた。今後もこうした、人生や生き方に希望や勇気を与えてくれる作品を上映していきたい。
会場	県立美術館ホール	入場者 188人	
主催	NPOこうちコミュニティシネマ／大西みちる		

行事名	シネマな夜VOL.134「約束の葡萄畑 ～あるワイン醸造家の物語」		
日・時	4月29日(金・祝) 10:30～計4回		ニュージーランドの監督らしく、ハリウッド映画とも、従来のフランス映画とも異なる味わい。歴史的背景を取り入れたリアルな描写と、天使の降臨する幻想的なシーンが共存する不思議な作品。「ある子供」のジェレミー・レニエ、「マイレージ、マイライフ」のヴェラ・ファーガなど、名優たちの共演が魅力だった。
会場	県立美術館ホール	入場者 240人	
主催	シネマ・サンライズ／吉川修一		

行事名	「につぼん昆虫記」映画上映会		
日・時	5月29日(日) 10:00～計5回		上映日は季節はずれの台風が接近し、大雨の中5回上映しましたが、観客は13名しか来なかった。作品は成人映画ながら、娯婦の女性がどのように生きてゆき、政治・社会に全く無関心な姿を通して、日本人の本質を表現した今村昌平・大塚和の最高作であり、入場者の少ないことは残念であった。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者 13人	
主催	小夏の映画会／田辺浩三		

行事名	MOVIE JUNKY 第204回上映会「江戸川乱歩の陰獣」		
日・時	6月11日(土) 13:00～計4回		上映の方法論として一種の実験を試みた上映会だった。いかに低コストで上映会を(35mmで)行うか、というもので、上映会に足を運ぶ方の高齢化が進んでいる中、穏当ならざるテーマが避けられがちな状況下でも上映会を成立できるか(または、できなくてもダメージが少ないように)という試行であった。結果はある程度成功して、良かったといえる。観客の評価も良かった。
会場	あたご劇場	入場者 73人	
主催	MOVIE JUNKY／西川泉		

行事名	「私が棄てた女」映画上映会		
日・時	6月19日(日) 10:00～計5回		大塚和プロデュースの「私が棄てた女」は私の最も好きな作品で、娘に是非見せてやりたかった。また、主人公を演じた河原崎長一郎の息子さんが、偶然高知市内で飲食店を経営していることが大きくニュースになり、この映画のPRIに役立った。これほど入場者がいても、カンパでやると、収支は赤字で非常に厳しいです。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者 114人	
主催	小夏の映画会／田辺浩三		

行事名	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会第24期上映会 佐の山間地からの教え		「土
日・時	6月26日(日) 10:00～16:00		山地自然の地力に依拠して農作物や草木を育て、20年、30年という歳月と山地自然の回復を待つ壮大な循環型自然農法―焼畑。混迷の時代、何を手がかりに生きるのかを、『椿山』はその疑問に大きな示唆を与えてくれました。焼畑研究・復興者、土佐伝統食研究者、記録者、生活者が集い、その教えを受け止め、伝え合う有意義な上映とシンポジウムでした。
会場	自由民権記念館民権ホール	入場者 62人	
主催	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会／松吉恵子		



## 演劇部門(1)

行事名	喜多流回雪臺高知栗谷会能楽大会			
日・時	5月8日(日) 10:00~16:00		当会の創始者徳平元太郎師の13回忌追善として現会長が「融」の能を演じたので、特別に大鼓の人間国宝亀井忠雄師のご出演を得、また徳平師に師事した旧会員にもご出演を得て賑やかに開催しました。また、大勢の方にご来場いただき会員一同感謝しております。会員も高齢化、またなかなかとりつきにくい能の世界をなんとか広めていきたいものです。	
会場	県立美術館能楽堂	入場者		250人
主催	喜多流回雪臺高知栗谷会／岡部徳治			

行事名	高知市民劇場第290回例会 青年劇場公演「族譜」			
日・時	5月19日(木) 18:30~・20日(金) 12:30~ 21日(土) 13:30~		日本と朝鮮のこと、人間の尊厳をしっかりと見つめた芝居でした。当日は、震災にあった東北の人たちを思った人、今の日本と韓国や北朝鮮の間について考えた人など、様々な思いを持っての観劇だったようです。「創氏改名」「族譜」という難しい題材をジェームス三木さんの演出によって、観やすく、わかりやすく創られていたことにより、一層私たちに迫ってくるものがありました。	
会場	かるぽーと大ホール	入場者		2,167人
主催	高知市民劇場／塩田正興			

行事名	しゃかりき シャカカのお芝居「死神」			
日・時	5月28日(土)・29日(日) 14:00~15:10・18:00~19:10 計4回		落語を演劇で表現する初の試みに挑戦。小道具に扇子と手拭いを用いて落語の世界観を壊さず舞台効果をあげることができ、また、道具の転換や幕の開閉には黒子を頻繁に登場させることで、落語という古典芸能を堪能してもらえる構成に仕上げることができた。今後も戯曲にこだわらず、様々な題材を演劇で表現し、多くのお客さんに楽しんでいただける上演に取り組みたい。	
会場	蛸蔵	入場者		195人
主催	しゃかりき シャカカ／行正忠義			

行事名	劇団とりあえず第2回公演「サロメの夜」			
日・時	6月2日(木)・3日(金)・4日(土)・5日(日) 13:30~14:35・17:00~18:05 計6回		第2回公演ということもあり、前回以上に充実したより面白い舞台をと、意気込みました。実際私としては、台本、本番ともパワーアップした作品に仕上がったと思っています。しかし、それが観客動員には結びつかず(昨年の旗揚げ公演は83名)、ひとり芝居の難しさを感じてしまいました。	
会場	オリエンタル居酒屋トンプー(東風)	入場者		52人
主催	劇団とりあえず／山北美砂子			

行事名	第23回高知能楽会大会			
日・時	6月5日(日) 9:30~16:40		本会を構成する5会派、会員約200名が各々の日頃の研鑽の成果を発表することができ、また年1回の親睦目的の会でもあるように、楽しい発表会になりました。雨にもかかわらず入場された人々に、日頃あまり接することのない能楽の世界を楽しんでもらえたと思います。ただ、会員の高齢化が進み、若い会員を勧誘し育てていかないと将来が心配されます。	
会場	県立美術館能楽堂	入場者		250人
主催	高知能楽会／小林容子			

行事名	高知市こども劇場40周年記念特別例会 「高知の城下で狂言じゃー!! 茂山一門参上。」			
日・時	6月19日(日) 15:00~16:20		狂言の上演は高知では稀で、大人でも初めて触れる人が多かったようです。“狂言のおはなし”から始まり、「太刀奪」「濯川」の2演目でした。学校での上演を続けている茂山家の解説はわかりやすくおもしろいお話でした。子ども向けにアレンジしたということもなく、日本古来のシンプルかつ本格的なもので、現代に生きる古典の笑い、古いのおもしろい狂言の魅力を堪能しました。	
会場	県立美術館能楽堂	入場者		420人
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場／武市真寿美			

## 演劇部門(2)

行事名	『John Manjiro was here』 ジョン万英語で遊ぼう！		
日・時	7月10日(日) 9:45～11:45		絵本『John Manjiro was here ジョン万次郎物語』(ラボ・パーティ45周年記念発刊)をテーマに、小学生親子が楽しみながら英語に親しんだ。今日を機に、「日本人とは?」「国際交流とは?」「コミュニケーションとは?」について家庭で話題にしてほしい。私たちは、今後も「物語」「ことば」「交流」を大切に様々な教育プログラムを開催していく。
会場	かるぽーと 11階大講義室 ・9階特別学習室	入場者 80人	
主催	高知ラボ・パーティ/岩本真理		

行事名	劇団ゆまにて第81回公演「化粧」		
日・時	9月8日(木) 19:00～20:50		当初の開催日7月8日を7月19日に変更したところ、台風接近のため公共交通機関が運行中止するなどの理由で、再度日程を延期せざるを得なくなった。初めてのひとり芝居ということで、演じ手も観客も緊張していたようだ。初めて生の舞台を観たという人が多かったが、概ね好評であった。大変やりがいのある作品で、今後もこうした深みのある作品を手掛けていきたい。
会場	県立美術館ホール	入場者 177人	
主催	劇団ゆまにて/吉本智賀子		

## 音楽部門(1)

行事名	青峰流至誠吟詠会春季大会		
日・時	4月10日(日) 13:30～16:30		当会も5年目を迎えることができました。春季大会は秋の競吟大会と違って、吟詠の持ち時間や表現方法等に左右されるわけではなく、のびのびと詠じていました。また秋に向け頑張っていきたいと思っております。
会場	高知プリンスホテル	入場者 75人	
主催	青峰流至誠吟詠会／佐藤青絹		

行事名	一絃琴わくら和遊紅会演奏会		
日・時	4月17日(日) 13:30～15:30		東日本大震災に見舞われた今春でしたが予定通り開催しました。亡くなられた方の追悼のため「雲がくれ」という曲を入れました。また、鴨長明の方丈記の序の1節を橋本師の作曲で1曲入れておりました。この曲は鴨長明が若い頃このような災害を続けざまに体験したことを克明に記したものです。思いの外たくさんの方がお聴き下さり、これからもなおいっそう地道に活動する所存です。
会場	かるぽーと9階和室	入場者 53人	
主催	一絃琴わくら和遊紅会／松本遊紅		

行事名	土佐中・高等学校吹奏楽部第46回スプリングコンサート		
日・時	4月29日(金・祝) 17:30～19:30		25年ぶりの夕方からの開催で、観客動員数が期待通り増えました。演奏の方も満足のいくものであり、演奏者も来ていただいた方々も、とても楽しむことのできたステージになったと思います。来年は今年以上のものができるよう計画していきたいと思っております。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 1,000人	
主催	土佐中・高等学校吹奏楽部／川崎仁哉		

行事名	第34回おしどり会民謡発表会		
日・時	5月3日(火・祝) 12:30～16:30		初めての美術館ホールでの発表会、会員も緊張していましたが、お客さんも満席になり盛会に終わりました。控室もたくさんあり駐車場も広く大変良かったです。
会場	県立美術館ホール	入場者 650人	
主催	高知民謡おしどり会／高橋輝雄		

行事名	高知県吟剣詩舞道総連盟春季競吟大会		
日・時	5月8日(日) 9:00～17:00		高知県下5ブロックに分かれ競い合ってきた競吟大会決勝戦、本年度も「詩吟剣舞春季大会」と「優勝旗争奪競演決勝大会」が行われました。1年ぶりに会う仲間や同僚でロビーは社交場、舞台は戦場のような緊張感。吟じ終わった会員からは、また明日に向かって頑張るぞという声が聞こえてくるような1日でした。
会場	高新RKCホール	入場者 840人	
主催	高知県吟剣詩舞道総連盟／柳瀬岳領		

行事名	正曲一絃琴白鷺会演奏会		
日・時	5月14日(土) 13:00～15:00		予想以上の入場者になりました。古典・伝統の和の空間にひととき心癒され、十三絃との合奏は迫力があり元気をもらいましたとの嬉しい言葉をたくさんいただきました。1901年出版の「一絃琴正曲譜本」の著作者島田勝子師の孫、島田安子様ご夫妻の来場により、記念すべき貴重な演奏会となり盛会でした。今後も伝統のひとつの糸の調べを大切に守り継いで演奏してまいります。
会場	かるぽーと小ホール	入場者 165人	
主催	正曲一絃琴白鷺会／田中美智子		

## 音楽部門(2)

行事名	高知市こども劇場低学年例会「ストローミュージック&リコーダー」		
日・時	5月15日(日) 15:00~16:00・18:30~19:30		リコーダーの達人、神谷徹氏がいろんな種類のストローを、ストローという素材だけで組み合わせ様々な形状の笛をつくり上げ、またその形にちなんだ曲を聞かせてくれました。次々と登場するストロー笛の形やしかけのおもしろさと、それが楽器になっていることに驚き、みとれ、聞き入ってしまいました。
会場	かるぽーと小ホール	入場者 280人	
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場／武市真寿美		

行事名	秀鳳流日本吟詠会春季大会		
日・時	5月29日(日) 9:30~17:00		東日本大震災支援募金協賛大会と銘打って吟詠大会を催しました。本年も午前の部で初伝・中伝・奥伝を行い、昼食を挟んで、特別研修生・青雲吟詩吟詠・無鑑査吟詠・高段者役員吟詠・音楽吟詠「泉海(まりん)」「山行」など他流派の応援をいただきました。最後に吟情「万里の波濤を越えて」で締めくくりました。本年も会場いっぱいのお客様に感謝申し上げます。
会場	高知プリンスホテル	入場者 120人	
主催	秀鳳流日本吟詠会／野中秀鳳		

行事名	高知交響楽団創立80周年記念演奏会 第146回定期演奏会		
日・時	6月5日(日) 14:00~16:00		80周年を迎えて打ち出したビジョンに沿い、ベートーヴェン連続シリーズは交響曲第1番、隠れた名曲シリーズはラフマニノフの交響曲第1番、大谷康子氏をソリストとして迎えたブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番というプログラムを編成した。高橋敏仁氏の卓越した指導により上質の演奏を披露することができたが、入場者は想定を大きく下回り次回への課題となった。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 656人	
主催	高知交響楽団／山下佳邦		

行事名	第8回混声合唱団Pange定期演奏会		
日・時	6月11日(土) 18:30~20:30		かるぽーとでの初めての演奏会ということで「より幅広い年代、より多くのお客様に楽しんでいただける」に重点を置いてステージ構成を組み立てました。ホール使用料が今までより一気に高くなるため、演出やゲストなどに費用をかけることはできなかったですが、その分団員がアイデアを出し合って楽しい演出にできたと思います。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 639人	
主催	混声合唱団Pange／藤田貴子		

行事名	やいろ吹奏楽団第16回定期演奏会		
日・時	6月12日(日) 13:00~16:00		例年通り3部構成で、1部は吹奏楽コンクール課題曲などクラシックステージを、2部は「テーマ~追跡~」と題し国内外でヒットした刑事映画等の楽曲を、3部は懐かしい映画音楽やTVでおなじみの曲を演奏しました。ただ、今回初めて日曜昼間の開催のためか入場者が激減したので、来年も日曜昼間開催につき、今後集客に対して企画や対策を練っていきたいと思っています。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 450人	
主催	やいろ吹奏楽団／野町考司		

行事名	土佐一絃琴演奏会		
日・時	6月12日(日) 13:30~15:30		プログラムの組み方を考慮した結果、最後に会場ゆかりの龍馬挽歌を演奏。席を立つ人がほとんどなく最後まで聴いていただけたのではないかと。県外客はもちろん、県内容にも一絃琴を知らない人が多く、休憩時と終了後に一絃琴奏法や楽器(弓琴・低音琴)について個々に説明し、理解していただく。一生懸命の取り組みではあったが、なおいっそう励みたい。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者 50人	
主催	土佐一絃琴同好会／高木美智		

## 音楽部門(3)

<b>行事名</b> 第18回大正琴アンサンブルあじさい会発表会			
日・時	6月15日(水) 13:30~16:30		昨年に引き続き平日の開催となったが、会場は満席、遠くは室戸から、何よりも駐車場があるのが強み。今回も客席は多彩な人たちで幕間は社交場となった。大正琴の懐かしい音色にギター・サクソが入る、またプロの民謡歌手、日舞など多彩なメンバーで客を退屈させない最高の演奏会であった。
会場	県立美術館ホール	入場者 420人	
主催	大正琴あじさい会／川島節子		

<b>行事名</b> 邦楽器と洋楽器によるアンサンブル グループ「し〜ずん」コンサート			
日・時	6月17日(金) 19:00~21:00		1年先取り「ブレ20周年記念」として台湾からの2人のゲストが確定していましたが、東日本大震災のため1人が出演できなくなり、先取りコンサートを断念しました。ゲストの劉穎蓉(リュウ・インロン)氏の尺八とピアノでの二重奏など、満足感を得た演奏となりました。「今年のコンサートはとてもしやされました。ありがとうございます」というお客様からの声が多く聞かれました。
会場	県立美術館ホール	入場者 377人	
主催	グループ「し〜ずん」／門田綾子		

<b>行事名</b> 第52回高知県合唱祭			
日・時	6月19日(日) 10:00~16:30		震災の影響からか、メッセージ性の高い曲を歌う団体が多かったです。昨年ほどではありませんでしたが、一般のお客様も増えてきており、これを今度は参加者増加につなげていく方法を考えていると思います。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 766人	
主催	高知県合唱連盟／西本佳奈子		

<b>行事名</b> 高知本條会ふるさと民謡民舞三味線発表会			
日・時	6月19日(日) 12:30~16:00		本年も、遠く大豊町からのグループ、いの町からは「虹の会」、また鳴り物の「びごう会」など、私たちでなくてはできない民謡の発表会となりました。それぞれのサークルも3回目となると息もぴったり合い素晴らしい演奏会になりました。オープニングの三味線合奏からエンディングの全員合唱まで43曲を踊り・合奏・合唱を交え楽しい1日でした。
会場	高知プリンスホテル	入場者 110人	
主催	高知本條民謡連合会／泉朋代		

<b>行事名</b> 桂民謡会チャリティー民謡民舞の祭典			
日・時	7月3日(日) 12:00~16:30		東日本大震災の後なので、被害を受けられた方々の鎮魂と復興の祈りを込めて、1曲ずつ華美にならないよう気を使いながら歌いました。義援金を募ったところ19万余り集まりましたので、本部を通じて被災地に送ります。来年は四国大会を本県で行いますので、これからも頑張ります。
会場	グリーンホール	入場者 550人	
主催	高知桂民謡会／竹内懸一		

<b>行事名</b> 三曲演奏会			
日・時	7月9日(土) 17:00~20:00		ゲストに絃方奏者菊重精峰・松村エリナ、尺八奏者難波竹山師をお招きしました。中央の第一線で活躍されている実力ある演奏家であり、親しみと充実感のある舞台で大きな華を添えていただきました。ゲスト曲3曲、協会提曲2曲、協会会員提曲6曲の計11曲で、尺八古典曲、昭和期以降の新曲・現代曲と変化に富んだ構成に、ご来場の皆様には十分お楽しみいただけたと思います。
会場	グリーンホール	入場者 340人	
主催	高知県三曲協会／澤田萬山		

## 音楽部門(4)

行事名				第33回高知ファミリーコーラス定期演奏会
日・時	7月9日(土) 18:30~20:30			今年のプログラムは、多くの方に合唱を楽しんでいただけるようにと、ステージ構成にも趣向を凝らし、好評のお言葉を多くいただくことができました。日頃から支えて下さっている多くの方々、当日会場で大きな拍手を下さった観衆の皆様のお陰と、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも多くの方に私たちの音楽を楽しんでいただけるように、団員一同努力していく所存です。
会場	県立美術館ホール	入場者	220人	
主催	高知ファミリーコーラス／岡本雅弘			

行事名				高知マンドリン土曜日会第42回定期演奏会
日・時	7月23日(土) 18:30~21:00			第1部スペインの風ではフラメンコダンサー堅田幸子さんとスタジオの生徒さんの協力により、フラメンコとの共演、第2部はJAPANの風として、NHK大河ドラマのテーマを中心とした音楽で日本の歴史をたどるように構成しました。「赤穂浪士」から「江」までなじみのある曲が多く、楽しんでいただけたと思います。来年も皆さんに楽しんでいただけるよう頑張っていきたいと思います。
会場	オレンジホール	入場者	512人	
主催	高知マンドリン土曜日会／前田理絵			

## 舞踊部門(1)

行事名	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所公演「とき無し」		
日・時	5月21日(土) 15:00～16:30・18:30～20:00		そばで観客を感じ、フラットな空間を活かし創作をし、全てのがひとつになれた。満足することでした。 会場を予約することが厳しい。
会場	かるぽーと小ホール	入場者 300人	
主催	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所／伊野友美子		

行事名	第39回内山時江ダンスシアター ア・ナ・タ Part6「One and them」		
日・時	5月21日(土)18:00～19:00 22日(日)15:00～16:00		ライブのように出演者と観客が一体となれるような舞台作りを始めて39回目を迎えました。迫力ある踊り、情熱、エネルギーをお客様に伝えられたと思っています。ホールのようにゆったりと観ていただくわけにはいきませんが、それでも毎回内山の踊りに対する思いを受け止めてお帰りになる方々のおほめの言葉を今年も頂戴することができ、継続してきて良かったと感じています。
会場	内山時江モダンバレエ研究所	入場者 117人	
主催	内山時江モダンバレエ研究所／内山時江		

行事名	第56回白鷺おどり		
日・時	5月29日(日) 11:00～16:00		台風にもかかわらず大勢の入場者を得、例年通り盛会のうち終演できました。コンクール審査員には中央より著名な舞踊評論家西形節子氏を招聘、緊張感を伴う高い水準の舞踊会となったことが大きな収穫です。高知市長賞は「鶯」の花柳寿延弥、「若紫」の花柳寿延美、白鷺会賞は「都風流」の坂東市弥、高知新聞社賞は「新曲浦島」の坂東姫之丞と決定しました。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 800人	
主催	高知県日本舞踊協会／花柳昌延		

行事名	高知社交ダンス愛好会演技発表会		
日・時	6月26日(日) 13:00～16:00		台風で入場者は若干減ったが、参加者は大張り切りで元気いっぱい。高齢化の続く中で本会も多くの高齢者の方々の参加があった。それなりに楽しみながらの演技発表は、たいへんユニークな内容で、場内は大拍手や爆笑の連続で親近感あふれるものであった。演技も年々向上し、参加者から来年の文化祭をめざす声が多く、「あなたが主役の発表会」をさらに広げていきます。
会場	旭文化センター	入場者 123人	
主催	高知社交ダンス愛好会／尾崎比佐子		

行事名	土佐ふじ和流おさらえ会		
日・時	6月26日(日) 13:00～16:40		いつもお稽古をしているふれあいセンターのホールでの発表会ということで、地域の方々が大勢応援に。地域に根ざした活動をめざしている私たちにとってはありがたい応援でした。最後の“絵島恋もよう”“辰巳恋すがた”まで皆さん席も立たずに見ていただきました。特別出演をしていただいた大正琴の方々に感謝申し上げます。
会場	弥右衛門ふれあいセンター	入場者 105人	
主催	土佐ふじ和流／竹村美和		

行事名	花柳鶴寿美・京鶴の会夏ざらえ		
日・時	7月17日(日)12:30～16:00		涼を求めて来るお客さんもいて、例年なみの客入りでした。番組も夏らしい外題で、気軽に楽しめました。また県民文化ホールリニューアルオープンということで利用料金が三割引きになり、照明・音響・小道具等にも配慮した舞台を作り、成功裡に終わることができました。
会場	グリーンホール	入場者 120人	
主催	花柳鶴寿美・京鶴の会／花柳京鶴		

## 舞踊部門(2)

行事名	浜田悦子バレエ研究所第39回発表会		
日・時	7月24日(日) 13:00～15:30		例年より遅い開催で台風の心配もありましたが無事に終了することができました。一部はクラス毎に楽しい作品を集め、二部カルメンはクラシックとは少し趣きの違う大人の作品に、三部コッペリアは全員でフィナーレまで一気に盛り上がる作品をと、構成しました。お客様からは楽しく見応えがあったとの評価をいただきました。40周年に向け新たに第一歩を踏み出したいと思います。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 650人	
主催	浜田悦子バレエ研究所／浜田悦子		

行事名	藤間流かおる会「夏のおどり」		
日・時	7月31日(日)11:00～16:00		本年度文化祭の最後の催し、客入りも良く安心しました。門下生、カルチャー教室の生徒さん達総勢50余名、54外題、良く頑張って踊りました。途中5分間の休憩をとりましたが、帰るお客さんもなく、干漉楽まで客席はほぼ満席でした。来年は4月1日文化祭の初日を飾るのに相応しい舞台を作ろうと、会員一同張り切っています。
会場	グリーンホール	入場者 430人	
主催	藤間流かおる会／藤間香緒瑠		



## 展示部門

<b>行事名 第24回双雲社書展</b>			
日・時	4月2日(土)～5日(火) 9:30～18:00(最終日は16時)		ペン字作品という小さいものと思われがちですが、縦が約2メートル横が60センチメートル、あるいはその逆の大きな作品5点を展示したことにより、入場者がペン字に新しい認識を持って下さったようです。また、割りばしやボール紙など筆具外の物で書いた遊びの世界の作品が多くの方の興味を呼んだのも、硬筆作品の幅広さをPRできた効果だと思います。
会場	高新画廊	入場者 425人	
主催	書道研究双雲社／岡崎六泉		
<b>行事名 春のいけばな展</b>			
日・時	4月29日(金)～5月1日(日) 10:00～18:00(最終日は16時)		加盟22流派の会員の協力で、大作18、普通作162、子供席に17作品を展示し、それぞれの趣が来館者の目を楽ませた。会員の高齢化が進み出瓶者の増加が望みにくく、子供席も出瓶への協力が難しくなり、点数が減少傾向にあることが悩ましい。時代の流れからか、大作にも往年の豪華さが影を潜めていると思われるが、全般的に爽やかな季節感を演出できたと思う。
会場	かるぽーと7階第1・2展示室	入場者 3,292人	
主催	(社)高知県華道協和会／岩井寿夫		
<b>行事名 春のばら展2011</b>			
日・時	5月14日(土)・15日(日) 10:00～18:00(最終日は15時30分)		例年より1週間遅い開催で、一般の出品花数が少なかったため、切り花協会の賛助出品数を多くして全体の花数を確保し、盛会に終わることができた。コンテストは全9賞のうち3賞は該当なしであった。従来よりバラ栽培の普及を目的として苗の実費配布を行ってきたが、会場の利用規程によりできなくなった。今後はバラ苗販売業者を紹介するなどにより普及に努める。
会場	かるぽーと7階第4展示室	入場者 1,059人	
主催	高知ばら会／森岡清		
<b>行事名 第35回さつき花季展覧会</b>			
日・時	5月26日(木)～29日(日) 9:00～17:00(最終日は16時)		低温の日が続いたため開花時期が遅くなったが、会員努力の結果、開催日には約60鉢の個性豊かなさつき盆栽の参加がありました。大勢の入場者は花の美しさ、盆栽の素晴らしさに感動して下さいました。なかには長時間会場で花を楽しむ盆栽好きの見学者も多く見受けられた。富太郎館に根付いた我が会の盆栽展を末永く継続していくためにも会員の若返りを図ります。
会場	県立牧野植物園	入場者 2,000人	
主催	高知県さつき愛好会／斎藤俊和		

## 文芸部門

行事名	第41回総合文芸展		
日・時	5月10日(火)～15日(日) 10:00～17:00(最終日は16:30)		
会場	かるぽーと第5展示室	入場者	459人
主催	高知ペンクラブ／高橋正		

会員作品を中心に短歌、俳句、詩、川柳、まんが、紙芝居絵約60点を展示し、陳列ケースには会員の著書、同人誌、「高知文芸年鑑」や高知ペンクラブ会報のほか、県内各賞の受賞図書を展示し、鑑賞者も興味深く見入っていた。昨年に比べ出品数も大幅に増加し、内容も充実し、鑑賞者も多く成功であった。来年に向け広くPRを行い、さらなる発展をめざしたい。

行事名	第40回高知県俳句大会		
日・時	5月29日(日) 9:00～17:00		
会場	高新文化ホール	入場者	98人
主催	高知県俳句連盟／橋本幸明		

会員より作品を募集し、審査の結果、優秀作品の講評・表彰を行った。また、当日の参加者全員による互選句会を行い、会員相互の研鑽と親睦を図った。以上は大きな成果と考えるが、当日は台風接近の影響で、参加者が例年より少なかったのが残念です。

行事名	第10回高知県漢詩大会		
日・時	6月12日(日) 13:00～16:30		
会場	高知商工会館	入場者	255人
主催	高知県漢詩連盟／野中秀鳳		

結成以来毎回テーマを変え行ってきた文化講演は、創立10周年記念事業に相応しく、土佐山内宝物資料館館長渡辺淳先生に「山内容堂の生涯」を講演いただき、梅雨の中大勢が時代を超えた話に熱中した。また、会員による「土佐騒人の夢」の発表、自然を詠んだ「土佐を詠む」、平成22年度の四国内の作品を高知県吟剣詩舞道総連盟の協力で吟じ舞っていただきました。

行事名	平成23年度帆傘川柳大会		
日・時	6月26日(日) 10:30～17:30		
会場	文教会館5階ホール	入場者	129人
主催	帆傘川柳社／小笠原望		

参加者が例年を大幅に上回り、場内整理が大変なほどの大盛況で、また、県外からの参加も例年より多く、交流を深める場にもなった。大会参加が初めてという川柳教室で学ぶ人が多く参加し、意義のあるものになった。県内外4名ずつの充実した選者による内容の濃いバランスの良い会となった。会場が狭く混雑したので、来年からは別の場所に移る予定である。

## その他

<b>行事名</b> 香を楽しむ			
日・時	5月8日(日) 10:00~12:00・13:00~15:00		五月晴れに恵まれたたくさんの方にご来席いただいた。今回は男性5名も参加下さり、日常の生活と違ったこんなに静かな空間の中に身を置き伝統のものに触れる機会があつて楽しかったと感想をのべてくれました。貴重な体験をして下さり、ほんのひとときの時間に安らぎを感じていただけることを嬉しく思います。今後も伝統文化を1人でも多くの方に体験していただきたく努力します。
会場	寺田寅彦記念館	入場者 68人	
主催	香道古心流土佐伽羅の会／藤本淑峰		

<b>行事名</b> 第37回高知市教育長杯かるた大会			
日・時	6月26日(日) 9:00~15:00		参加者数は少なかったが、タイからの留学生の参加があり、かるたの試合を通しての国際交流がなされた。全国的に見ると競技かるた人口は増加していますが、残念ながら高知県での競技人口は減少しています。引き続き練習会や大会を開催することで、高知県内での競技かるたの普及を図っていきたい。
会場	南部健康福祉センター	入場者 32人	
主催	高知かるた会／吉本健二		

<b>行事名</b> 第15回三里友の会文化祭			
日・時	5月29日~7月24日 全4行事		今年は映画会を含めまして4件の催しと、少しさみしい文化祭となりましたが、今回で15回を数え、毎年恒例のこの行事を楽しみにして下さっている方々もたくさんできました。観客数も多く、盛会のうちに終えることができました。しかしながら、参加グループの高齢化が進んでおり、その点が不安の種でもあります。
会場	三里文化会館	入場者 580人	
主催	三里文化推進友の会／土居正治		

<b>行事名</b> 参加興行映画			
日・時	4月29日~7月22日 全4作品		文化祭に相応しい作品として、日本映画「八日目の蟬」(4/29~)、「岳ーガクー」(5/7~)、「手塚治虫のブッダ」(5/28~)、「星守る犬」(6/11~)の計4本を参加作品とした。
会場	TOHOシネマズ高知	入場者 12,120人	
主催	高知県興行生活衛生同業組合／友永雄一		